

令和6年度 岡見まちづくりセンターの主な取組

事業名

お月見どろぼう

P

●事業実施に至った背景、目的

- ・4年ぶりの復活事業。6年度から発足したまちづくり委員会の若手部の活動きっかけづくり。
- ・地域の子育て世代の方に若手部を認知してもらう。
- ・子ども達に非日常を体験してもらう。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・若手部の会議を開催 3回
- ・岡見保育所の所長さんに会議に参加をいただき、園児と児童の関わり方を話し合った。
- ・スタッフとして、センター運営推進委員会の方にも参加を募集。
- ・お供えを置かせてもらう家7件を選定、協力を依頼。
- ・つくしの会さん(読み聞かせグループ)に当日の読み聞かせを依頼。
- ・夜道の歩行と害獣対応の為、見守りスタッフを地域の方に急遽お願いした。

D

●事業の概要

- ・初めの会(17:30～)
- ・お月見どろぼうのパネルシアター(つくしの会)
- ・参加者約80名が8グループに分かれて中山地域の散策(前後半4チームずつ出発)
7か所の家または施設に伺い、1か所につき1つのお供え物をどろぼうする。
- ・感想の記入(ポストイット貼り付け型)
- ・ぜんざいを食べる。
- ・終わりの会(～19:30)

C

●事業実施後の振り返り

- ・家の方との打ち合わせがうまくできず、スタッフを暗い中で待機させてしまった。
- ・どのグループが回ってきたのかチェックできるものがあれば良かった。
- ・感想がその場で見ることができ、スタッフの励みとなった。

A

●令和7年度以降の方向性

若者が集まる場づくり、きっかけづくりに注力したい。そして、その活動に若者自ら参画してもらえるような働きかけをしたい。



↑ どろぼうに扮装した子どもたち

←参加者、スタッフ 総勢 100 名
「楽しかった!」と大好評でした